## 経済分析入門 演習問題 大和担当分 実験経済学

\*テストでは、以下の演習問題に関連した問題を出題する。

問1) 成田・ロサンゼルス間の往復航空券の売買取引を考えよう。この航空券の売り手・買い手、それぞれ10人のタイプの分布が以下のように与えられたとする。 (単位万円)

売り手の分布		
売り手番号	仕入れ値	
1	3.6, 8.4	
2	3.6, 8.4	
3	3.6, 8.4	
4	4.6, 8.4	
5	4.6, 7.8	
6	4.6, 7.8	
7	5. 6, 7. 8	
8	5. 6, 6. 2	
9	5. 6, 6. 2	
1 0	6. 2, 7. 8	

買い手の分布		
買い手番号	最高価格	
1	10.8, 5.2	
2	10.8, 5.2	
3	10.8, 5.2	
4	9.8, 6.2	
5	9.8, 6.2	
6	9.8, 6.2	
7	8. 2, 7. 2	
8	8. 2, 7. 2	
9	8. 2, 7. 2	
1 0	9.8, 8.2	

ア) 仕入れ値と最高価格の全体の分布、供給表と需要表を書き、需要曲線と供給曲線を描け。

仕入れ値の分布	
仕入れ値	量

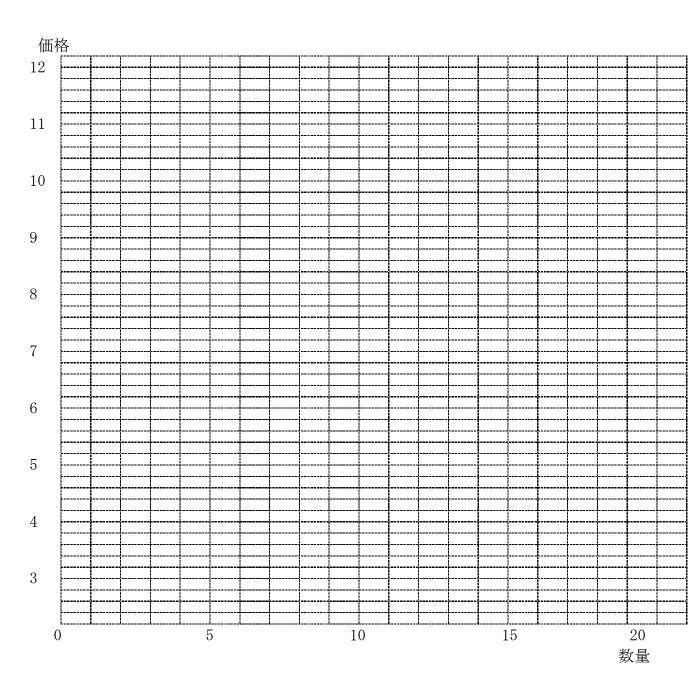
最高価格の分布	
最高価格	量

供給表

V//1920		
価格	供給量	
P >		
P =		
< P <		
	ı	

需要表

価格	需要量		
P <			
P =			
< P <			



- イ) 均衡価格、均衡数量、消費者余剰(均衡価格で取引した場合の買い手の利得の合計)、生産者余剰(均衡価格で取引した場合の売り手の利得の合計)、総余剰=消費者余剰+生産者余剰の値を求めよ。
- ウ) 飛行機の燃料漏れトラブルが発生し、買い手が飛行機の安全性に疑いを持つようになったために、すべての買い手の最高価格の値がそれぞれ 3.4 (万円) 減少したとしよう。売り手の仕入れ値は変化しないものとする。
- ア) と同じ図に、エンジントラブル発生後の需要曲線を描け。また、エンジントラブル発生後の均衡価格、均衡数量、消費者余剰、生産者余剰、総余剰を求めよ。

エ)トラブル発生前と発生後について、均衡価格、均衡数量、消費者余剰、生産者余 剰、総余剰の値がどう変わったかを説明せよ。

問2) 二人の買い手、AさんとBさんが、ある一つの財の販売に関するセカンドプライス・オークションに参加しているものとする。A、Bの入札値を $s_A$ ,  $s_B$ と表わそう。Aが最大限支払ってもよいと思っている金額の真の値は15万円、Bが最大限支払ってもよいと思っている金額の真の値は17万円であるとする。各人は自分の真の値は知らない。

Aの入札値 $s_A$  はいくらか? また,Bの入札値 $s_B$  はいくらか?あなたの答えの理由を詳しく述べよ.各人の利得を表すグラフを作成して説明すること.

問3)3人の買い手、Aさん、Bさん、Cさんが、ある一つの財の販売に関するファースト・プライス・オークションに参加しているものとする。各参加者の財の価値は、1/2の確率でX万円、1/2の確率でY万円だとする。各買い手は、自分の価値はX万円とY万円のどちらであるかは知っている。しかし、他の人の価値については、X万円なのかあるいはY万円なのかはわからず、それらは同じ確率1/2で起こりうるということしか知らない。

いま、X=6, Y=3とし、入札値は一万円単位でおこなうものとする.このとき、各人が同じ戦略をとっているようなベイジアン・ナッシュ均衡を求めよ. さらに、期待利得を比較することによって、なぜ、それがベイジアン・ナッシュ均衡になっているのかを示せ.

確率	1/2	1/2
価値 (最高価格)	X万円	Y万円
入札額	?万円	?万円